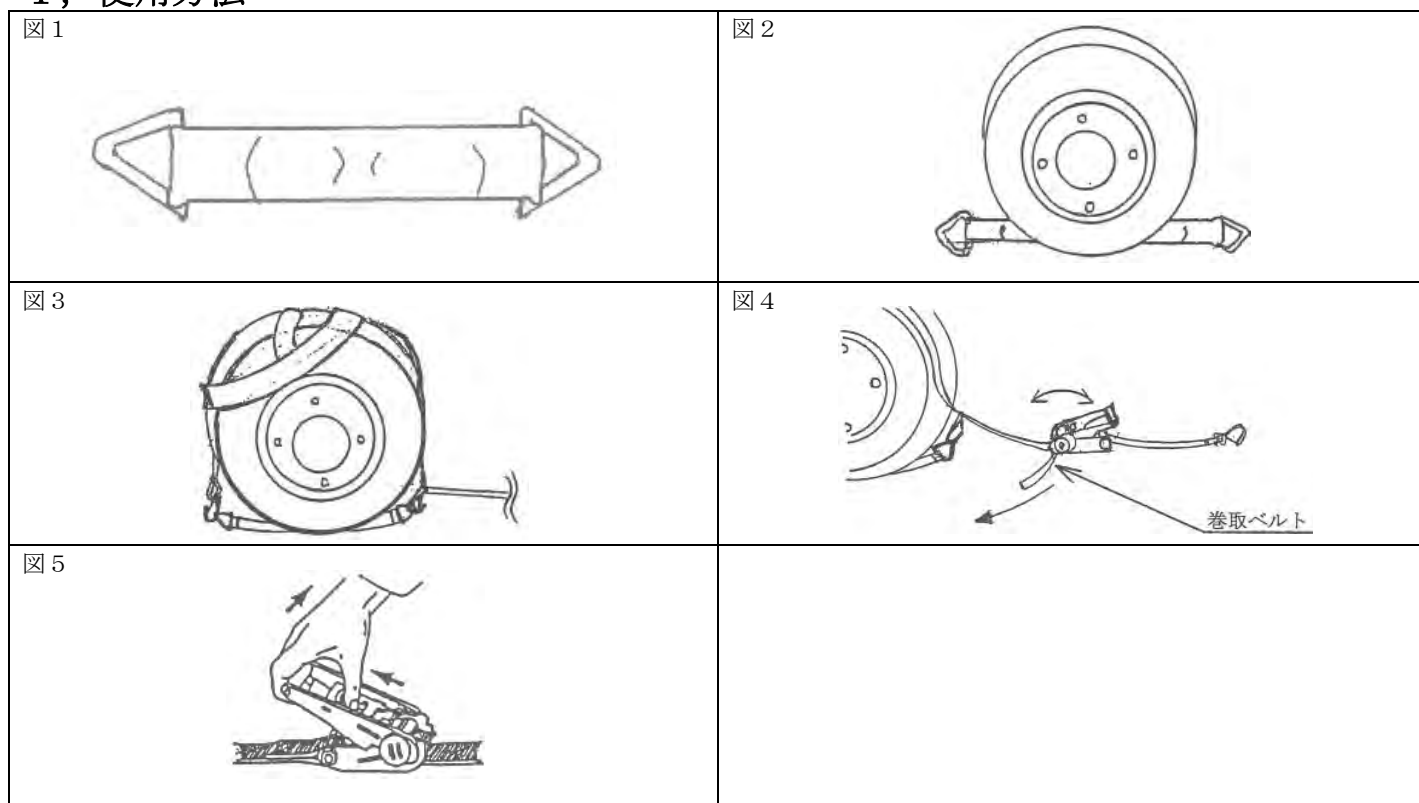


取扱説明書
車輛固定締機

品番：# 3 2 3 2 0 2 0 0 型式：5WSJS7

1, 使用方法



- ①図1の様に、積載車上で車輛の後輪のタイヤが乗る位置にD/Dリング・アダプターを置いて下さい。
- ②図2の様に、後輪のタイヤがD/Dリング・アダプターの中心を通る様に車輛を移動させて、D/Dリング・アダプターの中央で車輛を止めて下さい。
- ③図3の様に、タイヤに本機のワッカ部をかぶせて、両フックをDリングにセットして下さい。
- ④図4の様に、固定側のフックを車輛にセットして、ベルトがたるまない様に、巻取側ベルトを軽く矢印方向に引張って下さい。その後、ラチェットハンドルを上下させて、強く締め付けて下さい。
- ⑤確実に**車輛が固定されている事を確認してから走行**して下さい。
- ⑥ベルト（車輛固定）の解除は、ラチェットレバーを矢印方向に引きながら中央にラチェットハンドルを移動させて下さい。そのまま回転させ、止まる所まで移動させて下さい。巻取側ベルトを引張ると、締め付けを解除出来ます（図5参照）。

2, 注意事項

△警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性があるもの。）

- ①本機は、**リアの車輛固定を補助するもの**です。必ず、フロントを固定した上でご使用下さい。

△注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は製品の重大な破損を招く恐れのあるもの。）

- ①パンクしたタイヤ等には本機を使用しないで下さい。
- ②本機は汎用タイプです。**ワッカ部がタイヤに確実に装着出来ない場合は、無理に使用しないで下さい。**
- ③Dリング、フック、ラチェットハンドル、ベルトに破損、変形、亀裂等がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ④本機の改造はしないで下さい。
- ⑤ラチェットハンドルの操作は、必ず手動で行って下さい。
- ⑥巻取ドラムにベルトを巻き取る際は、巻き過ぎないように注意して下さい。（目安として、2～3回）巻き過ぎると、ハンドルが動かなくなり故障の原因になります。
- ⑦本機のベルトが角張った場所に当たる際は、プロテクター等を使用して下さい。
- ⑧道路の振動等により、ベルトのおさまりが変わり、締め付けが緩む恐れがあります。走行中、走行後は、定期的に締め具合を確認して下さい。
- ⑨ベルトが一直線になる様にセットして下さい。又、ベルトがねじれた状態では使用しないで下さい。
- ⑩本機の**使用荷重は、1500kg**です。それ以上の荷重を掛けて使用しないで下さい。
- ⑪水や油等がラチェットハンドルに付着している場合は、良く拭き取ってから、使用して下さい。
- ⑫本機は車輛にリアフックが付いていない場合に車を固定する機器です。リアフックが付いている車の固定には、リアフックを使用して下さい。